第33回（平成29年）
柏流さよなら少年野球大会

優　勝　三郷フレンズ

準優勝　ニューメジャーズ

第三位　松戸ゴールデンファイターズ

第四位　レジェンドカイザーJY



開催期間　平成28年11月～平成29年2月

主　催　柏流さよなら少年野球大会　運営委員会

後　援　ダイワマルエス株式会社　株式会社 共同写真企画

流　山　ボ　ー　イ　ズ　流山ロータリークラブ

朝日スポーツキッズ

ボールが飛んだ。
こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

ダイワマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

ダイワボウグループ

第33回（平成29年度）
柏流さよなら少年野球大会

目　次

大会優勝旗及びトロフィー群・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第33回柏流さよなら少年野球・決勝大会 成績表　・・・・・・・・・ 2

決勝大会概評及び最終日の成績表・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

ベスト4チーム（写真）・・・・・・・・・・ 5

大会スナップ写真・・・・・・・・・・・・・ 7

新聞掲載記事「朝日スポーツキッズ」・・・・・・・・・・・・・・・ 19
平成29年3月30日　No.269

第33回　柏流さよなら少年野球大会　参加チーム　・・・・・・・・・ 20

ブロックリーグ戦　成績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

ブロックリーグ戦　概　評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

柏流さよなら少年野球大会　歴代ベスト3　・・・・・・・・・・・・ 31

柏流さよなら少年野球大会のあゆみ　・・・・・・・・・・・・・・・ 32

柏流さよなら少年野球大会　開催要項　・・・・・・・・・・・・・・ 33
（平成26年1月一部改正）

柏流さよなら少年野球大会　役員名簿　・・・・・・・・・・・・・・ 35
（平成28年1月改選）

第33回　柏流さよなら少年野球大会　会計報告　・・・・・・・・・・ 36

※写真提供：株式会社 共同写真企画


柏流さよなら少年野球大
優勝
贈 ダイワマルエス株式会社
主催 柏流さよなら大会運営委員会



第３３回柏流さよなら少年野球
決勝大会　成績表

決　勝　戦	1	2	3	4	5	6	7	計
ニューメジャーズ	0	0	0	2	1	0	0	3
三郷フレンズ	1	0	1	0	2	0	X	4



Cブロック
我孫子　ブラックサンダース　1

Eブロック
松戸　ニューメジャーズ　3

2

Aブロック
柏　レジェンドカイザーJY　0

3(1+2)

Gブロック
野田　野田ニュースターズ　1(1+0)

3

三郷フレンズ

4

Fブロック
松戸　松戸ゴールデンファイターズ　7

Dブロック
我孫子　AEFブレーブス　3

7(7+0)

9(7+2)

Hブロック
柏　フォーセブン　1

Bブロック
三郷　三郷フレンズ　9

Aブロック
レジェンドカイザーJY　2

3位決定戦

Fブロック
松戸ゴールデンファイターズ　8

☆ ☆ ☆ 決勝大会概評及び最終日の成績 ☆ ☆ ☆

白熱の大熱戦　三郷フレンズ優勝に輝く

ニューメジャーズ無念　レベル高いベスト４チーム

年度の最後を飾る６年生だけの柏流さよなら大会は、今年度は３３回目を迎え、総数３４チームが参加して８ブロックに分かれてリーグ戦を行い、そのうちの首位となった８チームによって平成２９年２月１２日（日）と１８日（土）に野田河川敷グランド及び流山ボーイズグランドに於いて決勝大会が開催された。

決勝大会に出場したチームは、我孫子市と柏市、松戸市が各２チーム、野田市と三郷市が各１チームで、今年度は流山市からはゼロだったが、出場したチームはそれぞれレベルが高く、それだけに決勝大会は初日から熱戦が目立って大いに盛り上がった。

まず１回戦は全て野田河川敷グランドでの開催で、ＡブロックのレジェンドカイザーＪＹとＧブロック野田ニュースターズの対決は、緊迫した大接戦となり１－１のタイスコアから７回を終っても決着つかず、タイブレークのサドンデス試合となった。その結果、レジェンドカイザーＪＹが特別回に２点を挙げて勝利を収めたが、この試合はともに好投手を擁して、素晴らしい一戦だった。

Ｇブロックのブラックサンダース vs Ａブロックのニュースターズの一戦も接戦で見応えがあったが、結果はニュースターズのデフェンスの良さと試合運びの巧さが目立って、ニュースターズが２点差で勝利した。

他の２試合は攻守に元気とパワーで勝った松戸ゴールデンファイターズと、三郷フレンズがそれぞれ圧勝して２回戦（準々決勝戦）に駒を進めた。

なお、今大会は初日の日程が勝利チームがダブルで、ニューメジャーズ、レジェンドカイザーＪＹ、松戸ゴールデンファイターズ、三郷フレンズがベスト４に進出したが、続いて行われた準決勝戦の２試合も、緊迫した内容の濃い接戦だった。

ちなみに、Ｃ面で行われた準決勝戦のニューメジャーズ vs レジェンドカイザーＪＹ戦は、２回裏にニューメジャーズが１点を先制してそのままリードを死守し、時間で最終回となった６回に１点を追加して勝利した。

また、Ｄ面で行われた松戸ゴールデンファイターズ vs 三郷フレンズ戦は、初回に松戸ゴールデンファイターズが２点を先取すれば、三郷フレンズは２回に２点を挙げてすかさず同点とし、さらに３回には２点を奪って逆転に成功した。

そして松戸ゴールデンファイターズがその裏１点を挽回、続く４回は両チーム２点ずつ取り合って６－６の均衡は、息もつがせないシーソーゲームとなった。この戦いは６回に三郷フレンズが１点を奪って終わるかと思われたが、粘る松戸ゴールデンファイターズが土壇場の７回裏に１点を挙げて遂に同点に追いつき、試合は７－７のタイブレークでサドンデス試合となった。最終的には特別回に三郷フレンズが２点を挙げて松戸ゴールデンファイターズを振り切ったが、この一戦は、まさに球史に残る好試合だったことは誰もが認めるところだった。

かくして栄冠を賭けた対決は、２月１８日流山ボーイズグランドに於いてニューメジャーズvs三郷フレンズによって行われることとなった。三郷フレンズが３回までに２点を奪って有利な展開だったが、ニューメジャーズが４回に一気に２点を奪って同点に持込んでから、試合は大きく動き出した。同点に追いついたニューメジャーズが５回に１点を挙げて逆にリードを奪えば、三郷フレンズはその裏２点を挙げて再逆転し、結局この回の得点が効いて三郷フレンズが僅差の１点を守りきって栄冠を掌中にした。

実力は両チーム全くの互角だったが、チャンスを有効に生かした分だけ三郷フレンズが勝ったことが勝因。決勝大会をふりかえると、決勝戦で戦った両チームは当然のことながら、ベスト４に進出した各チームの実力も、今年度はかなりハイレベルであることが、とくに印象に残った。

まお、Ｂ面で同時開催されたレジェンドカイザーＪＹと松戸ゴールデンファイターズの三位決定戦は、松戸ゴールデンファイターズが序盤から得点を重ねて３回までに８点を奪って、余裕の試合運びを見せて大勝した。敗れたレジェンドカイザーＪＹは、時間で最終回となった６回に２点を挽回して意地を見せたものの、前半の失点が余りにも多すぎて、追いつくまでには至らなかった。

最終日の成績は次の通り。

◆三位決定戦　２月１８日（土）　流山ボーイズグランドＢ面

レジェンド　カイザー　ＪＹ	０	０	０		０	０	２	＝	２
松戸ゴールデンファイターズ	５	２	１		０	０	Ｘ	＝	８

審判：球審・八木澤（大会役員・柏市少年野球連盟）　塁審・小山、星本
高安（各柏市少年野球連盟）

◆決勝戦　２月１８日（土）　流山ボーイズグランドＡ面

ニューメジャーズ	０	０	０		２	１	０	０	＝	３
三郷　フ　レ　ン　ズ	１	０	１		０	２	０	Ｘ	＝	４

審判：球審・小泉（大会役員）　塁審・加納（大会役員）
豊田（大会役員）、布川（流山ボーイズ）





優　勝　三 郷フレンズ



準優勝　ニューメジャーズ



第三位　松戸ゴールデンファイターズ



第四位　レジェンドカイザーJY

開会式

平成29年2月12日 於:野田市河川敷グランド



第33回(平成29年)
柏流さよなら少年野球大会



開会式の進行役を務めた、小泉事業部長





元気に選手宣誓!!



熱戦







スナップ!










10




6
10


6


2



受賞スナップ







平成29年2月18日
於：流山ボーイズ グランド









優勝した三郷フレンズの選手達



準優勝のニューメジャーズの選手達



















閉会式に参列した役員・来賓諸氏





個人賞の記念品を手に喜びの選手達





新 聞 掲 載 記 事

ASA 子どもスポーツ新聞
朝日スポーツキッズ
THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"
平成19年 3月30日号 No.269

松戸・ニューメジャーズ 常盤平ボーイズ の合同チーム 五香メッツ

準優勝

第33回柏流さよなら少年野球大会





	1	2	3	4	5	6	7	計
ニューメジャーズ	1	0	1	0	2	0	×	4
三咲フレンズ	0	0	0	2	1	0	0	3





第33回柏流さよなら大会参加チーム名簿

ブロック	地域	チーム名	単独合同	構成チーム
A	我孫子	ジャスパーズ	合同	湖北台スパローズ・布佐ジャイアンツ・新木ファイターズ
A	松戸	ヤングビクトリー	合同	根木内ヤングスターズ・小金原ビクトリー
A	柏	SBOX	合同	北柏スーパーナイン・柏ボーイング・大船コンドルズ
A	柏	LEGEND KAISER JY	合同	豊上ジュニアーズ・柏ヤンガーズ
A	野田	野田ベスト	合同	野田ロッキーズ・清水タイガース・柳沢イーグルス
B	我孫子	ゴッドスピリッツ	合同	久寺家エラーズ・布佐スパイダース・リトルキング
B	三郷	三郷フレンズ	合同	友和タイガース・三郷スターズ・吹上クラブコメッツ・新和ビィクトリー
B	柏	柏ウエスタンズ	合同	伊勢原ジャガーズ・柏リアノス
B	柏	SBOXスターズ	合同	北柏スーパーナイン・柏ボーイング・大船コンドルズ
B	野田	野田南部	合同	西新田子ども会・南部ルーキーズ・中地ベースボールクラブ
C	我孫子	ブラックサンダース	合同	ブラックタイガーズ・サンスパッツ
C	松戸	松戸FNY(仮)	合同	双葉・にしくぼフェニックス・八柱サンジュニアーズ
C	柏	柏DJM	合同	柏ドリームス・高野台ジャガーズ・松葉ニューセラミックス
C	柏	フレンズ	合同	高田ウィンスターズ・新栄ファイヤーズ・千代田ファイターズ
C	流山	流山レイソル	合同	初石クーガーズ・東深井ボーイズ
D	我孫子	AEFブレーブス	合同	リトルイーグルス・湖北フレンズ
D	松戸	高塚新田ラークス	単独	
D	柏	アドウィン・クラブ	合同	加賀シャトルズ・柏ビクトリー・藤心ジャガーズ・名戸ヶ谷アトミック
D	柏	RITS(リッツ)	合同	トライスター・北柏レッドファイターズ・イリヤーズ
D	流山	流山スターズ	合同	鰭ヶ崎ジュニアフィンズ・加岸ペアーズ・南流ファイターズ・流山マリーンズ
E	我孫子	トライデントスターズ	合同	リトルジャガーズ・白山クラブ・新木野コンドル
E	松戸	ニューメジャーズ	合同	常盤平ボーイズ・五香メッツ
E	柏	沼南ファルコンズ	合同	沼南フラワーズ・高柳西エースクラブ
E	柏	スーパーシャークスG	合同	スーパーフェニックス・光ヶ丘シャークス・酒井根東グリーンズ
E	流山	流山ルーキーズ	合同	江戸川台フェニックス・小田急ライオンズ
F	松戸	松飛台メジャーズ	合同	松戸カージナルス・串崎スワローズ
F	松戸	松戸ゴールデンファイターズ	合同	野菊野ファイターズ・松戸スラッガーズ
F	柏	ツインバルス	合同	新柏ツインズ・光インバルス
F	野田	ダイナマイトスターズ	合同	梅郷パワーズ・中根ヤンキース
F	流山	流山ウイングス	合同	ありんこアントス・向小金ファイターズ・前ヶ崎クラブ・八木南クラブ・長崎FLB
G	松戸	ビッグマグマ	合同	リトルベアーズ・ベースボールクラブ大和・馬橋ドリームス
G	松戸	セントラルパークス	単独	
G	柏	柏スペシャルナインズ	合同	北柏オールスターズ・ダックス
G	野田	野田ニュースターズ	合同	野田ドンキーズ・関宿バッファローズ・野田シャイニング
G	流山	ミラクルズ	合同	カージナルス・流山ホークス・流山シャークス
H	松戸	牧の原ジュニアーズ	単独	
H	柏	増尾オールスターズ	合同	柏南ギャランツ・増尾レッドスターズ
H	柏	フォーセブン	合同	豊四季イーグルス・旭町サンライズ・若草・四小地区少年野球クラブ
H	野田	野田レッドジャガーズ	合同	野田ジャガーズ・レッドファイターズ

ブロックリーグ戦　勝敗表

A BLOCK

順位		レジェンドカイザーJ	ヤングビクトリー	野田ベスト	SBOX	ジャスパーズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	レジェンドカイザーJY（柏）		○ 4-1	○ 2-1	○ 3-2	○ 9-0	4	4	0	0	8	18	4	14
2	ヤングビクトリー（松戸）	● 1-4		△ 8-8	○ 3-2	○ 4-3	4	2	1	1	5	16	17	△1
3	野田ベスト（野田）	● 1-2	△ 8-8		● 4-5	○ 7-0	4	1	2	1	3	20	15	5
4	SBOX（柏）	● 2-3	● 2-3	○ 5-4			3	1	2	0	2	9	10	△1
5	ジャスパーズ（我孫子）	● 0-9	● 3-4	● 0-7			3	0	3	0	0	3	20	△17

（注）空欄は打ち切り

ブロックリーグ戦　勝敗表

B BLOCK

順位		三郷フレンズ	ゴッドスピリッツ	野田南部	柏ウエスタンズ	SBOXスターズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	三郷フレンズ（三郷）		△ 0-0	○ 6-0	○ 3-2	○ 11-0	4	3	0	1	7	20	2	18
2	ゴッドスピリッツ（我孫子）	△ 0-0		○ 7-5	● 3-6	○ 8-1	4	2	1	1	5	18	12	6
3	野田南部（野田）	● 0-6	● 5-7		○ 4-3	○ 4-3	4	2	2	0	4	13	19	△6
4	柏ウエスタンズ（柏）	● 2-3	○ 6-3	● 3-4		○ 9-2	4	2	2	0	4	20	12	8
5	SBOXスターズ（柏）	● 0-11	● 1-8	● 3-4	● 2-9		4	0	4	0	0	6	32	△26

ブロックリーグ戦　勝敗表

C BLOCK

順位		ブラックサンダース	柏DJM	フレンズ	松戸FNY	流山レイソル	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	ブラックサンダース（我孫子）		△ 1-1	○ 7-1	○ 6-0	○ 9-0	4	3	0	1	7	23	2	21
2	柏DJM（柏）	△ 1-1		○ 3-2	○ 8-1	○ 13-0	4	3	0	1	7	25	4	21
3	フレンズ（柏）	● 1-7	● 2-3		○ 18-2	○ 10-2	4	2	2	0	4	31	14	17
4	松戸FNY（松戸）	● 0-6	● 1-8	● 2-18		○ 8-6	4	1	3	0	2	11	38	△27
5	流山レイソル（流山）	● 0-9	● 0-13	● 2-10	● 6-8		4	0	4	0	0	8	40	△32

ブロックリーグ戦　勝敗表

D BLOCK

順位		AEFブレーブス	流山スターズ	アドウインクラブ	高塚新田ラークス	リッツ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	AEFブレーブス（我孫子）		○ 9-2	○ 4-0	○ 1-0	○ 6-0	4	4	0	0	8	20	2	18
2	流山スターズ（流山）	● 2-9		○ 5-2	○ 4-3	○ 10-0	4	3	1	0	6	21	14	7
3	アドウインクラブ（柏）	● 0-4	● 2-5		○ 2-1	○ 4-2	4	2	2	0	4	8	12	△4
4	高塚新田ラークス（松戸）	● 0-1	● 3-4	● 1-2		○ 4-1	4	1	3	0	2	8	8	0
5	リッツ（柏）	● 0-9	● 0-10	● 2-4	● 1-4		4	0	4	0	0	3	24	△21

ブロックリーグ戦　勝敗表

E BLOCK

順位		ニューメジャーズ	スーパーシャークスG	流山ルーキーズ	トライデントスターズ	沼南ファルコンズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	ニューメジャーズ（松戸）		△ 0-0	○ 7-3	○ 6-3	○ 4-2	4	3	0	1	7	17	8	9
2	スーパーシャークスG（柏）	△ 0-0		○ 3-2	△ 0-0	○ 2-1	4	2	0	2	6	5	3	2
3	流山ルーキーズ（流山）	● 3-7	● 2-3		○ 3-0	○ 6-3	4	2	2	0	4	14	13	1
4	トライデントスターズ（我孫子）	● 3-6	△ 0-0	● 0-3		△ 1-1	4	0	2	2	2	4	10	△6
5	沼南ファルコンズ（柏）	● 2-4	● 1-2	● 3-6	△ 1-1		4	0	3	1	1	7	13	△6

ブロックリーグ戦　勝敗表

F BLOCK

順位		松戸ゴールデンファイターズ	ツインパルス	松飛台メジャーズ	流山ウイングス	ダイナマイトスターズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	松戸ゴールデンファイターズ（松戸）		○ 17-0	○ 4-2	○ 11-1	○ 14-0	4	4	0	0	8	46	3	43
2	ツインパルス（柏）	● 0-17		○ 7-3	○ 10-4	○ 4-3	4	3	1	0	6	21	27	△6
3	松飛台メジャーズ（松戸）	● 2-4	● 3-7		○ 6-4	○ 11-1	4	2	2	0	4	22	16	6
4	流山ウイングス（流山）	● 1-11	● 4-10	● 4-6		○ 5-2	4	1	3	0	2	14	29	△15
5	ダイナマイトスターズ（野田）	● 0-14	● 3-4	● 1-11	● 2-5		4	0	4	0	0	6	34	△28

ブロックリーグ戦　勝敗表

G BLOCK

順位		野田ニュースターズ	セントラルパークス	ミラクルズ	ビッグマグマ	柏スペシャルナインズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	野田ニュースターズ（野田）		○ 2-1	○ 6-0	○ 3-2	○ 5-1	4	4	0	0	8	16	4	12
2	セントラルパークス（松戸）	● 1-2		△ 6-6	○ 6-0	○ 11-1	4	2	1	1	5	24	9	15
3	ミラクルズ（流山）	● 0-6	△ 6-6		○ 9-7	○ 8-0	4	2	1	1	5	23	19	4
4	ビッグマグマ（松戸）	● 2-3	● 0-6	● 7-9		○ 4-1	4	1	3	0	2	13	19	△6
5	柏スペシャルナインズ（柏）	● 1-5	● 1-11	● 0-8	● 1-4		4	0	4	0	0	3	28	△25

ブロックリーグ戦　勝敗表

H BLOCK

順位		フォーセブン	野田レッドジャガーズ	牧の原ジュニアーズ	増尾オールスターズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	フォーセブン（柏）		○ 6-3	○ 14-2	○ 10-0	3	3	0	0	6	30	5	25
2	野田レッド レッドジャガーズ（野田）	● 3-6		△ 2-2	○ 4-1	3	1	1	1	3	9	9	0
3	牧の原ジュニアーズ（松戸）	● 2-14	△ 2-2		△ 1-1	3	0	1	2	2	5	17	△12
4	増尾オールスターズ（柏）	● 0-10	● 1-4	△ 1-1		3	0	2	1	0	2	15	△13



ブロックリーグ戦　概評

◆Ａブロック

レジェンドカイザーＪＹが４戦全勝で首位。同チームは柏市の豊上ジュニアーズを主体に柏ヤンガーズとの混成で、このうち主力の豊上ジュニアーズは千葉県大会でも優勝した強豪チーム。ＳＢＯＸ、野田ベストとは１点差の勝利だったが、４試合を通じての失点４は、デフェンス力の安定さを物語っており、この点はさすがで実力ＮＯ．１を証明した。

２位ヤングビクトリー以下は混戦で、勝星一つの差で順位が決定したが、このうち３位のジャスパーズはヤングビクトリーには１点差で善戦したが、勝利は得られなかった。

なお、ＳＢＯＸ vs ジャスパーズ戦は、各市の地元大会との兼ね合いで試合が消化できなかったため打ち切りとなった。

◆Ｂブロック

三郷フレンズがゴッドスピリッツと引き分けたが、他の３試合に勝利して首位となり、決勝大会進出を決めた。同チームは打撃力が強力だったことに加えて、バッテリーがとくに素晴らしかったのが特筆される。４試合での総失点２がそれを証明しており、これはブロックリーグ戦全体では最も少ない記録。

２位ゴッドスピリッツは三郷フレンズとの引分けは評価も、柏ウエスタンズ戦の引分けが痛恨。

３位は野田南部と柏ウエスタンズがともに２勝２敗となったが、順位は直接対決で勝っている野田南部が確保した。

◆Ｃブロック

ブラックサンダースと柏ＤＪＭがともに３勝１引分けの成績となって同成績も、順位は対戦勝者が上位になる決まりも、引分けに終ったため、得失点差での決着となった。しかし得失点差の点数も同点となったことで、最後は失点の少ない方が上位となって、ブラックサンダースの１位が確定して決勝大会進出を決めた。

柏ＤＪＭはブラックサンダースより総失点が２点差多かったことで２位となり、決勝大会進出を逸したのは不運だったが、ブラックサンダースとは実力は全く互角だった。

３位フレンズ以下は、上位２チームとはかなり実力の差があり、結局このブロックはブラックサンターズと柏ＤＪＭのマッチレースに終った。

◆Ｄブロック

攻守に安定して実力を発揮したＡＥＦブレーブスが４戦全勝で首位、決勝大会への進出を決めた。ちなみに、同チームの４試合での総失点２は、Ｂブロック首位の三郷フレンズ

と並ぶリーグ戦の最少記録。その他の３試合も全て完封勝ちだったのは、デフェンス面での堅実さを充分に物語っている。

３勝１敗で２位となった流山スターズは、ＡＥＦブレーブス戦の完敗が全てで、この一敗で決勝大会進出を逃がした。３位以下は勝ち星一つの差で順位が決定したが、首位となったＡＥＦブレーブスとは実力面ではかなり開きがあった。

◆Ｅブロック

展開的にはニューメジャーズとスーパーシャークスが無敗で首位を争ったが、最終的にはこの２チームの対決が引分けとなったことと、スーパーシャークスが下位のトライデントスターズに引分けたため、ニューメジャーズが勝ち点１の差で首位となった、スーパーシャークスは無敗だったが、トライデントスターに引き分けたのが痛恨。

このブロックは３位となった流山ルーキーズ以下の各チームも星の潰しあいを演じて活気があったものの、この対決は首位争いとは別次元で盛り上がった。

◆Ｆブロック

松戸ゴールデンファイターズが同地区の松飛台メジャーズには接戦勝ちしたものの、その他の３試合には１０点以上の得点を挙げて大勝し、破壊力のあるところを見せて全勝決勝大会への進出を決めた。ちなみに、同チームが４試合で挙げた総得点４６（１試合平均１１．５点）はリーグ戦全体でのＮＯ．１の記録。

２位は松戸コールデンファイターズに敗れたツインパルスが３勝１敗で確保したが、首位チームとは対戦結果から判断して、ちょっと実力差があった感じ。

◆Ｇブロック

野田ニュースターズ、セントラルパークス、ミラクルズの３チームによる星の潰しあいで、首位争いは大いに盛り上がったが、最終的には野田ニュースターズが４戦全勝で首位となった。展開的にはセントラルパークスが野田ニュースターズに惜敗、ミラクルズはセントラルパークスとは引分けたものの、野田ニュースターズに敗れて脱落した。

セントラルパークスとミラクルズが２勝１敗１引分けで直接対決は引分けの同成績となったが、順位は得失点差で勝るセントラルパークスが上位（２位）となった。

◆Ｈブロック

このブロックだけ４チーム編成でのリーグ戦で、フォーセブンが２位となった野田レッドジャガーズに苦戦したが、３試合を手堅く勝利して首位、決勝大会への進出を決めた。

２位は１勝１敗１引分けの野田レッドジャガーズ、３位は２引分け１敗の牧の原ジュニアーズで、１引分け２敗で４位となった増尾オールスターズとともに、決勝大会進出を賭けた戦いとは別の次元での星争いで盛り上がった。

柏流さよなら少年野球大会　歴代ベスト3

回数	開催年度	出場チーム数	優勝	準優勝	第三位
1	1985 昭和60年	15	柏友ジャニーズ （柏）	カージナルス （流山）	黒葉留民図 （柏）
2	1986 昭和61年	24	タイタンズ （流山）	八木北オールスターズ （流山）	柏友トライスター（柏） 西原アローズ（柏）
3	1987 昭和62年	20	柏ライナーズ （柏）	中新宿ウィングス （柏）	千代田ファイターズ（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
4	1988 昭和63年	20	トライスター （柏）	名戸ヶ谷アトミック （柏）	四小+柏友（柏） 八木北小A（柏）
5	1989 平成元年	18	柏友ジャニーズ （柏）	宮園イーグレッツ （流山）	千代田ファイターズ（柏） つくしアトミック（柏）
6	1990 平成2年	20	トライスター （柏）	名戸ヶ谷ファイブス （柏）	豊四季イーグルス（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
7	1991 平成3年	20	流山ミラクルズA （流山）	伊勢原ジャガーズ （柏）	増尾クラブ（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
8	1992 平成4年	20	南流クラブ （流山）	ありんこアントス （流山）	増尾クラブ（柏） 流山ミラクルズA（流山）
9	1993 平成5年	20	トライスター （柏）	八木南クラブ （流山）	千代田ファイターズ（柏） 加岸&西平井パワーズ（流山）
10	1994 平成6年	20	高野台ジャガーズ （柏）	柏フェアB （柏）	増尾オールスターズ（柏） 流山ミラクルズA（流山）
11	1995 平成7年	28	新松戸スターズ （松戸）	流山ミラクルズA （流山）	オール長崎（流山） サクセス（流山）
12	1996 平成8年	21	流山レイソル （流山）	三小クラブ （柏）	流山ミラクルズA（流山） 新松戸スターズ（松戸）
13	1997 平成9年	19	柏ボーイング& トライスター（柏）	流山ミラクルズA （流山）	三小クラブ（柏） 柏ドリームス（柏）
14	1998 平成10年	21	向小金ファイターズ （流山）	スーパースターズA （流山）	清水タイガース（野田） 流東クラブ（流山）
15	1999 平成11年	20	松葉ニューセラミックス （柏）	千代田ファイターズ （柏）	ミラクルズ（流山） 小金原ビクトリー（松戸）
16	2000 平成12年	24	ミラクルズ （流山）	長崎FLB （流山）	清水タイガース（野田） 流山レイソル（流山）
17	2001 平成13年	22	流山レイソル （流山）	南流ファイターズ （流山）	リトルベアーズ（松戸） 小金原ビクトリー（松戸）
18	2002 平成14年	35	松葉ニューセラミックス （柏）	流山レイソル （流山）	グッバイスワローズ（松戸） ミラクルズ（流山）
19	2003 平成15年	37	ファイヤーブレーブス （流山）	高野台ジャガーズ （柏）	スカイヤーズ （松戸）
20	2004 平成16年	42	セントラルパークス （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	高野台ファイターズ （柏）
21	2005 平成17年	39	ミラクルズ （流山）	増尾オールスターズ （柏）	にしくぼフェニックス （松戸）
22	2006 平成18年	42	グレイトレイソル （流山）	中松ボンバーズ （我孫子）	フォーセブン （柏）
23	2007 平成19年	46	セントラルパークス （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	JTBスターズ （柏）
24	2008 平成20年	57	マリンベアーズ （流山）	大津が丘ファイターズ （柏）	ジュニアファイターズ （流山）
25	2009 平成21年	51	松飛台メジャーズ （松戸）	ニューメジャーズ （松戸）	ヤングスターズ （松戸）
26	2010 平成22年	59	小金原ビクトリー （松戸）	BDスターズ （野田）	アドウィンクラブ（柏） フレンズ（柏）
27	2011 平成23年	64	フレンズ （柏）	ブラックホークス （我孫子）	常盤平ボーイズ （松戸）
28	2012 平成24年	58	流山マリンベアーズ （流山）	松葉ドリームス （柏）	ジュニアファイターズ （流山）
29	2013 平成25年	58	増尾オールスターズ （柏）	フレンズ （柏）	松戸J&V （松戸）
30	2014 平成26年	49	松戸スターズ （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	野田南部Y （野田）
31	2015 平成27年	49	加岸ジュニアファイターズ （流山）	JCミックス （柏）	増尾オールスターズ （柏）
32	2016 平成28年	42	ミラクルズ （流山）	柏DJM （柏）	SBOX （柏）
33	20,17 平成29年	39	三郷フレンズ （三郷）	ニューメジャーズ （松戸）	松戸ゴールデンファイターズ （松戸）

柏流さよなら少年野球大会のあゆみ

昭和６０年に柏市内北部の柏友ジャニーズ、四小地区少年野球クラブと、同東部地区の黒葉留民図、流山市のカージナルスほか流山北部地区のチームが中心となって、６年生だけ出場の大会としてスタート。

初年度は出場チームも少なく、３ブロックのリーグ戦により、決勝戦はブロック１位チーム同士の総当たり制としたが、二年目から出場チームが増加したことで、以降４ブロックによるリーグ戦制に改めてこの方法を定着させた。同時に、決勝大会は各ブロック１位チームによりトーナメント戦で優勝を決め、三位決定戦は行わず同成績としてこの方法を継続して来たが、平成１５年の第１９回大会から三位決定戦を設定した。

大会名は、当初出場チームが柏市と流山市だけだったことから、両市の頭文字をとって「柏流」とし、さらに６年生にとっては野球が出来るのが時期的にも最後となることから、「さよなら」を後につけて「柏流さよならリーグ少年野球大会」とした。なお、出場資格を６年生だけに限定したことは、開催時期が新メンバー（５年生以下）の研修大会であるカリフ・ＳＧ旗争奪少年野球大会と重なることが最大要因。また、各市では秋季大会が終了した後で、時期的にも６年生だけの単独チームは編成が難しいことから、４チームまでの混成が可能で、人数が多い場合は２チーム以上での出場が認められるのも特徴。

さらに開催期間が１１月下旬から翌年３月上旬までの寒い時期に加え、天候及びグランドコンデションや確保面でもハンディがあること、指導者が他の大会と掛け持ちなどの理由から開会式は行わず、グランド確保、日程編成及び運営も全て各ブロックの当該チームに一任して来た。そして、決勝大会についても当初は当該チーム同士でグランド、日時を決めて行い、表彰式（閉会式）についても当該チームによる自主運営としてきた。

大会の定着にともない、平成６年以降に松戸市と野田市からの出場チームがあり、さらに平成１４年には我孫子市と三郷市から、そして近年はつくば市、成田市、吉川市、東京葛飾からも出場チームがあった。

ちなみに、当大会は平成１１年にボーイズリーグ・流山クラブ（現流山ボーイズ）のグランド（当時流山市東深井）を使用して初めて開会式を開催したが、これを機に平成１２年度から大会の正式な組織（柏流さよならリーグ少年野球大会運営委員会）が結成された。ともない以降の大会開催日を毎年初日は１月の成人の日（祝日）とし、決勝大会も２月初旬から３月上旬迄に決めて、最終日は流山ボーイズのグランドで開催することも決まった。

当大会の後援は、発足当初は使用球が昭和ゴム株式会社のＳＧボールであったが、同社が平成１５度一杯で軟式ボールの生産から撤退したため、代わって新たにダイワマルエス株式会社が後援となった。また、平成１２年度から上記のボーイズリーグ・流山ボーイズが加わり、さらに写真撮影の共同写真企画も平成１４年度から正式に加わった

大会名も従来の「柏流さよならリーグ少年野球大会」から、平成１５年度に現在の「柏流さよなら少年野球大会」に改称した。

柏流さよなら少年野球大会開催要項（平成２６年１ 月一部改正）

大　会　名　　柏流さよなら少年野球大会

主催・主管　　柏流さよなら少年野球大会運営委員会

後　　援　　ダイワマルエス株式会社　株式会社共同写真企画　朝日スポーツキッズ
流山ボーイズ（全日本ボーイズリーグ加盟）　流山ロータリークラブ

開催期間　　毎年１月成人の日（祝日）を初日として、同日流山ボーイズのグランドにて開会式を行い、以降２月一杯までをブロックリーグ戦（グランドは当該チームのグランド）に当てる。なお、ブロックリーグ戦は近年出場チームが各種大会と競合するケースが多いので、抽選会終了後開会式を待たずに早めに始めても良い。

決勝大会は、各ブロックの首位チームによりトーナメント方式で行なう。同大会の開催日は、原則として２月中旬から下旬とし、最終日（三位決定戦・決勝戦）は全て流山ボーイズのグランドに於いて行なう。

参加チーム　　地域は原則として東葛地区を対象とするが『友軍』チームの出場も可。

出場資格　　全て６年生のみ。単独チームで出場出来ない場合は、４チームまでの混成が認められる。メンバーが多い場合は、同一チームで２チームの出場も可。

出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督・コーチ・選手のユニホーム、背番号も統一しなくても可。但し、監督はリボンの装着を義務付ける。

試合方法　　①参加チームを数ブロックに分けてそれぞれ総当りリーグ戦を行い、首位チームのみが決勝大会に出場出来る。なお、順位の決定は勝点制とし、勝利が２点、引き分け１点、敗戦０点とし、勝ち点の最も多いチームを上位とする。

②リーグ戦で同成績の場合の順位は、次の規定で決定する。

１．対戦勝利チームが上位。三つ巴の場合は得失点差の最も多いチームが上位で、得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位となる。

２．但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームはたとえ得失点差で上回っても、３チームでの最下位となる。

③全試合７回または時間（シートノックを除き１時間４５分）制で、リーグ戦では得点差によるコールドゲームは適用しない。但し、決勝大会の準決勝戦と三位決定戦のみコールドゲーム（３回以降１０点差、５回以降７点差）の適用がある。

④７回または規定時間に達しても同点の場合は、リーグ戦は引き分けとし、延長戦は行なわない。但し、決勝大会に限っては特別ルール（一死満塁で継続打者）の適用（但し、延長は２回までそれ以降は

抽選）がある。

⑤投手の投球規定回数は一試合５回（１５アウト）、一日１０回（３０アウト）までとし、いかなる場合でもそれ以上は投げられない。

⑥柏流さよなら少年野球大会の特別ルール

１．６年生最後の大会なので、控え選手の出場機会を出来るだけ多くする。そのために、次の特別ルールを適用する。

２．投手以外の**「指名打者」２名を必ず出場させる。**メンバーが足りない場合はこの限りではないが、ベンチに選手がいる場合は指名打者は必ず出場させなければならない。なお、指名打者は守備につけても良い。

⑦その他のグランドルールは、当該グランドの特別ルールを適用する。

審判当番　リーグ戦については各ブロック内で話合って決定する。決勝大会については原則として役員が担当するが、出場チームに協力を仰ぐ場合もある。

ブロック長　リーグ戦運営の総括責任者として、日程編成及び運営については「大会運営委員長」としての権限を有し、全ての責任を持つ。同時にリーグ内の試合結果などを大会事務局まで速やかに報告することを義務付ける。

事務局：平田宗久　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５５－４０５２

小泉博康　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５４－８５２９

報告は出来るだけＦＡＸでお願いいたします。

試合の結果はホームページ（担当：小泉）に掲載されます。

リーグ戦の日程はブロック長と良く話し合って決めてください。なお、**ブロック長に一任して決定した日程を２試合以上棄権した場合は、当該チームは自動的に失格**となり、以降の試合には出場出来ず、残り試合は全て不戦敗（得点は０－１０）となりますので、この点をブロック長は各チームに説明して徹底させて下さい。但し、特別な事情がある場合はこの限りではないが、ブロック長に事前連絡がない場合は認められない。

会　費　１チーム　５０００円（抽選会の時に納入する）

提出書類　抽選会の時に出場チームは連絡責任者（名目上の代表者は不要）と監督名を申込書に記入して提出してもらいますので、その他の記載事項も含めて事前に確認しておいてください。記載事項の氏名は必ずフルネームで記入し、ＴＥＬ、チーム名なども間違いのないようにしてください。代理抽選の場合も同様で、その折会費も必ず納入してください。

表　彰　優勝、準優勝、第三位、第四位の団体賞と、個人賞は流山ボーイズから。他に流山ロータリークラブからの協賛もあり。

付記事項　開会式には、各チームとも必ずプラカード（規格は自由）を持参してください。団旗の持込も歓迎します。

柏流さよなら少年野球大会役員（H28/1 改選）

会長	山田晃一	東葛地区親睦少年野球大会会長
副会長	青木　誠	野田市少年野球連盟会長
〃	金丸正孝	柏市少年野球連盟会長
〃	平田宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務		
運営副委員長	加納貞夫	野田市少年野球連盟役員
審判部副部長兼務		
事業部長（事務局総括）	小泉博康	流山市少年野球連盟役員
事業部副部長	大割健夫	柏市少年野球連盟役員
審判部部長	松本秀樹	
審判部副部長	藤井豊務	柏市少年野球連盟役員
〃	＊川口裕司	松戸市少年野球連盟役員
運営委員（事業部担当）		
〃	豊田　穣	流山市少年野球連盟役員
〃	柴田清光	松戸市少年野球連盟役員
〃	鈴木三郎	柏市少年野球連盟役員
〃	＊八鍬昌次	流山市少年野球連盟役員
〃・監査役兼務	今野正博	野田市少年野球連盟役員
運営委員（審判部担当）		
〃	渋谷重雄	流山市少年野球連盟役員
〃	西ケ迫勝宏	流山市少年野球連盟役員
〃	梅田敦司	流山市少年野球連盟役員
〃	堀江速人	野田市少年野球連盟役員
〃	岡野　誉	野田市少年野球連盟役員
〃	湯本秀次	野田市少年野球連盟役員
〃	内田欽也	野田市少年野球連盟役員
〃	八木澤　巌	柏市少年野球連盟役員
〃	吉田　繁	柏市少年野球連盟役員
〃	濱田　健	柏市・松葉ニューセラミックス
〃	桑名裕介	松戸市少年野球連盟役員
〃	居倉　諭	松戸市少年野球連盟役員
〃	吉岡貴明	松戸市少年野球連盟役員
顧問	善積信夫	ダイワマルエス㈱東京営業所長
〃	新佐古公人	流山ボーイズ会長兼総監督

（注）　＊印は非常勤

第33回　柏流さよなら大会　会計報告

◆収入の部

大会参加費	@5,000×39チーム＝¥195,000
第32回大会　繰越金	¥83,810

収入合計　278,810円

◎寄贈品

＊㈱ダイワマルエスボール　４ダース
＊流山ロータリークラブ　メダル
＊流山クラブ　副賞多数

◆支出の部

抽選会会場費	¥6,480
グランド使用料	0
（1/９　降雨のため返金　１２，８００）	
参加賞用ボール	¥43,200
賞状代	¥10,000
トロフィー代	¥20,669
冊子データ作成費	¥80,000
編集費（冊子作成）	¥20,000
（編集費）	¥10,000
事務局経費(打合せ補助費)	¥25,000

支出合計　215,349円

※収入　278,810円－支出　215,349円 ＝ 63,461円は、第３4大会へ繰り越します。

会計担当　平田　宗久

平田会計担当から提示されました、平成29年度柏流さよなら大会の会計帳簿および収支決算書につきまして、帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、会計基準に則り適正に処理されているものと認めます。

平成29年2月20日

会計監査担当
今野　正博

Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825
◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の
朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!
取材力を生かしたオールカラー、迫力満点の紙面で
紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。
インタビューなどの読み物や、大会情報も充実しています。
大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版もどうぞ!

●松戸　●柏　●我孫子　●野田
●流山　●鎌ヶ谷　●白井　●印西



ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ

THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F　TEL:04-7143-4021　FAX:04-7143-3453

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

NER企画

スポーツ少年団・
イベント・
その他撮影承ります。

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3300-10

お問い合せは
TEL&FAX 04-7197-0115

流山クラブボーイズ　中学部

公益財団法人
日本少年野球連盟 BOYS LEAGUE

新入部員募集!!

流山クラブボーイズ中学部には毎年、各地域の少年野球連盟から
多くの少年達が入部し活躍を続けています。
そして、卒団生の中には甲子園で活躍した選手も多く 、
プロ野球選手になった先輩もいます。
流山クラブボーイズ中学部では 、硬式野球の基本から十分な指導が受けられ 、
一年生から練習試合を通じて野球の面白さ、楽しさが思いっきり体験できます。
皆さん是非一度、流山クラブボーイズ に見学・体験にお越し下さい。

主な進学校

習志野高校	花咲徳栄高校	専修大松戸高校
木更津総合高校	市立柏高校	安田学園高校
東葛飾高校	早稲田実業高校	西武台千葉高校
浦和学院高校	県立柏高校	東洋大付属牛久高校
我孫子高校	帝京高校	流経大付属柏高校
春日部共栄高校	二松学舎沼南高校	常総学院高校
柏陵高校	日大豊山高校	拓大付属紅陵高校
西望学園高校	市川学園高校	他
市立船橋高校	関東第一高校	

主な戦績

◆全国春季大会	出場12回	
◆全国選手権大会	出場12回	ベスト4=2回
◆ジャイアンツカップ	出場 3回	ベスト8=1回
◆関東大会	出場18回	準優勝1回・ベスト4=3回
◆東日本大会	出場16回	優　勝1回・準優勝1回
◆関東ボーイズリーグ大会		第一回大会から連続参加中
		準優勝１回・ベスト4=3回

中学部　連絡先

総監督　新佐古 公人
監　督　猪狩 貴範　090-6159-4373
1年担当コーチ　山崎　衛　090-4726-8228

http://nagareyama-club.webnode.jp/

流山市
江戸川河川敷グランドH面にて、
練習しています。

※試合でいない場合もありますので、確認をとってください。

見学・体験
大歓迎!!



